# 『紅葉(黄葉)前線』

角田猛雄・上野潤二・尾崎一源・宮下修一

### 1. 紅葉前線とは

各地で紅葉が始まった日を線で結び、紅葉の進み具合を表したもの。 気象庁では「紅葉の等期日線」。横浜地方気象台では、イロハカエデの平 年(1981年~2010年)の紅葉は12月14日、イチョウの平年の黄葉は 11月26日。

### 2. 落葉

落葉は、低温や乾燥など生育条件の悪い時期に休眠するためのもの。 葉は低温(凍結)に弱く、気孔があるため乾燥にも弱い。葉が落ちるの は、葉柄の基部に離層が出来るから。葉柄が落ちた跡はコルク層で覆わ れ、葉痕は維管束の配列状態。コナラ、クヌギ、カシワなどは葉が枯れ てもすぐには落葉しない。では、常緑樹は落葉しないでしょうか? (常 緑樹も落葉します。)

## 3. モミジとカエデという言葉

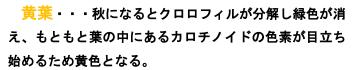
「モミジ」・・・秋に葉が赤や黄色に変色すること、又はその葉。多くの 紅葉する木を代表してカエデ属が「モミジ」と呼ばれている。

「カエデ」・・・植物分類上は、カエデ科カエデ属に属する樹木。カエデ 科の特徴は、葉が対生、果実に2つの翼を持つ。



**紅葉・・・**クロロフィルという緑色の色素の分解とともに、葉の中の 糖分とアミノ酸から日光により赤色の色素であるアントシアニンが大量

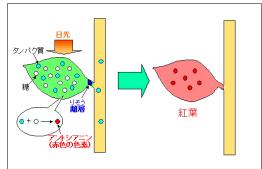
にでき、鮮やかな赤色に変色。もともと葉の中には黄色 の色素であるカロチノイドも含まれているため、葉には 黄色い部分もある。



褐葉・・・紅葉と同じ仕組みでフロバフェンという褐色の色素が蓄積し、はじめは黄色でのちに褐色に変化。



種子が母体から離れて移動することを、種子散布という。付着型、 被食型、貯食型などの動物散布、風散布、水流散布、水滴散布、自動 散布、振動散布、重力散布等がある。人や動物にひっついて生育範囲 を拡大する植物を「ひっつき虫」とよんでいる。オナモミ、ヤブジラ





ミ、ヌスビトハギ、ミズヒキ、センダングサ、チカラシバ、イノコズチ、チジミザサなど。

(本日はご苦労様でした。次回は11月13日(日)13時より自然観察会を行います。)